

沖縄高専 だより

Okinawa National College of Technology

第2号

国立沖縄工業高等専門学校

〒905-2192 沖縄県名護市字辺野古905番地

TEL 0980-55-4003（代表）

FAX 0980-55-4012

H P <http://www.okinawa-ct.ac.jp/>



◆◆◆ 沖縄高専だより第2号目次 ◆◆◆

・ 目 次	1	・ 高校総体結果報告	15
・ 校長あいさつ	2	・ 地域連携推進室長あいさつ	16
・ 事務部長あいさつ	3	・ 学生相談室長あいさつ	16
・ 主事あいさつ	4	・ 後援会会長あいさつ	17
・ 学科長あいさつ	6	・ 校章について	17
・ 学生会活動報告	11	・ 平成18年度行事予定表	18
・ 寮生活動報告	13	・ 沖縄工業高等専門学校校歌	20
・ 寮生会活動紹介	14		



校長あいさつ — 入学式祝辞 —

校長 糸村 昌祐

意志あるところに道はある

本日ここに名護市長島袋吉和様、辺野古区長大城康昌様、沖縄工業高等専門学校産学連携協力会会長島袋周仁様、沖縄工業高等専門学校後援会会長喜納隆様をはじめ、ご来賓、保護者の皆さまのご臨席のもとに、沖縄工業高等専門学校の平成18年度入学式を挙行できますことは、私ども教職員及び在校生にとりましてまことに大きな慶びであります。

本日の入学式に出席された167名の新入生の皆さん、入学おめでとう！そして、今日の日を待ち望んで居られたご家族の皆さまにも心からお祝いを申し上げます。

さて、新入生の皆さんは、本日から沖縄高専の第3期生として新しい生活を始めることになりました。皆さんは今後5年間本校で学び、卒業後工業技術者として、あるいはさらに、大学3年次編入や専攻科への進学を志し、大きな希望と決意を持って、この入学式に出席していると思います。そこで、これからの学習の心構えについて少し話をさせていただきます。

入学したばかりの皆さんには早過ぎるかとも思いますが、将来、技術者として働いている自分を考えてみてください。技術は日進月歩で絶えず進展していきます。例えば10年前のコンピュータが今では時代遅れとなるような、大変な早さです。そのような早い技術の進歩に、技術者として取り残されないためには、どのようにすればよいと思いますか？次々と新しい技術を学び続ける以外に道はありません。学校には先生が居て質問をすれば教えてくれるでしょう。しかし、卒業後の社会には先生は居ません。自分で、自主的に学ぶ以外にありません。高等専門学校は大学と同じ高等教育機関であり、高専生は学生と呼ばれることを入学手続の日にお話ししました。高専や大学での勉学は、自ら学ぶ自発的な勉学なのです。本日、入学を許可された皆さんには、沖縄高専で学ぶこれからの5年間、自分で考え、判断し、自ら学ぶ積極的な学生として、日々の生活を過ごしていただくことを強く希望いたします。

先日の春季高校野球大会で、本校の硬式野球部が公式戦初の1勝を挙げました。しかし、校歌はまだできあがっておりませんでした。沖縄高専の校章と校歌は本日がお披露目です。本日の入学式に花を添えて頂いた吹奏楽部並びに合唱同好会を含めて、現在沖縄高専には21の部と二つの同好会があります。さらに、1・2期生の諸君の努力で学生会と寮生会が作られました。これらの活動は人間性を育む上で重要であり、協調性、忍耐力、決断力、実行力、表現力、リーダーシップなど将来生きていくために大切な能力が知らず知らずのうちに身に付いていきます。学科や学年の異なる広い範囲の友人ができます。皆さんが沖縄高専の学生として、自ら学ぶ力を身につけるとともに、クラブ活動や友人関係あるいは先生方との交わりを通して、広い範囲の経験を積み重ね、自分自身を磨き、技術者として調和の取れた知識と人間性を身につけ、社会に貢献できる人になっていただくことを願います。

西洋のことわざに「Where there is a will, there is a way.」ということわざがあります。古い日本のことわざでいう、「精神一統、何事かならざらん」です。あるいは「為せば成る」、現代的に言えば「やればできる」と言うことですが、それよりは、女子ゴルフで有名な宮里藍さんが座右の銘としている「意志あるところに道はある」という素直な訳が最も適切だと思います。皆さんのこれからの人生が満足できるモノになるのか、価値あるモノになるのかは皆さんの生き方、皆さんがどのような経験をし、それをどのように自分のモノとしていくかによって決まります。自分自身を豊かにし、自分の人生を豊かにするには、しっかりとした意志を持ち、実践し経験を積み重ねていくことが重要です。「意志あるところに道はある」のです。

重ねて新入生の皆さんの入学を祝い、健康で楽しく、充実した学生生活となることを願って告辞と致します。



事務部長あいさつ

事務部長 内 山 亮

この4月で沖縄高専も開校して3年目にあたり、3期生を迎えることができました。学生数も497名となり、学生寮やキャンパスも活気あふれる状況となっております。毎年学年進行するなかで、最終的には平成20年度に5年生までそろそろと総勢800名を超える学生さんがこの高専に集うことになります。

現在の事務組織は3課体制の40名で学生や教員に対してのサポートを行っています。地域との連携や産業界等への窓口として庶務課の職員10名が対応しています。

施設の維持管理等をしていき、教育や研究に必要なものの物品を調達するために会計課の職員14名が配置されています。

学生生活全般にわたり教育活動、クラブ活動や寮生活を充実してもらうように支援していく学生課の職員15名が担当しています。

なお、来年からは事務組織のよりスムーズなサポート体制を確立し、各系の連携を円滑にしていくために総務課と学生課の2課体制をスタートさせていく予定にしております。

高専の理想とする5年一貫教育により高度な実践的技術者を育成するために事務部も総力を上げて支援していきたいと思っております。

大学とは異なる高等教育機関として、個性豊かな沖縄高専を確立していくためこれからも皆様方の積極的なご支援をお願いするものであります。

事務部連絡先一覧

係	電話番号	メールアドレス
庶務課 庶務係	0980-55-4003	syomu@okinawa-ct.ac.jp
地域連携係	0980-55-4070	chiiki@okinawa-ct.ac.jp
人事係	0980-55-4006	jinji@okinawa-ct.ac.jp
会計課 総務係	0980-55-4014	soumu@okinawa-ct.ac.jp
経理係	0980-55-4017	keiri@okinawa-ct.ac.jp
用度係	0980-55-4020	youdo@okinawa-ct.ac.jp
施設係	0980-55-4023	sisetsu@okinawa-ct.ac.jp
学生課 教務係	0980-55-4028	kyoumu@okinawa-ct.ac.jp
学生係	0980-55-4032	gakusei@okinawa-ct.ac.jp
図書係	0980-55-4037	tosyo@okinawa-ct.ac.jp
学生寮	0980-55-4273	



総務主事あいさつ

総務主事 真鍋 幸男

総務主事は本校の組織編制、将来計画及び自己点検・評価に関する事項を担当しています。保護者や学生の皆様に関連する事項としては沖縄高専の中期計画の見直し、専攻科の設置、日本技術者教育認定(JABEE: Japan Accreditation Board for Engineering Education)の受審準備、自己点検・評価の実施などが有ります。

1. 中期計画に関しては、経済産業省から受託している社会人教育のための2件の大型教育事業の受託に伴い、産学連携や地場産業支援を一層加速する目的で、地域共同テクノセンターを平成19年度に設置すべく中期計画を1年前倒しするなどの見直しを行っています。
2. また、本年度は専攻科設置検討委員会、JABEE対応委員会、自己点検・評価委員会を新たに発足させ、第1期生の進路確保と教育内容・体制の改善を加速しています。
(専攻科は1期生の卒業にあわせ、平成21年4月に開設予定としています。)
3. さらに、自己点検・評価委員会では、本校の教育研究、学生支援、施設設備、管理運営の現状と改善点について第1回自己点検書を作成中であり、近々完成する予定としています。本自己点検書は社会に広く公開するとともに、地域の有識者の外部評価も受け、より良い教育研究を目指しています。



教務主事あいさつ

教務主事 高木 茂

1期生を受け入れてから2年が経過し、意欲ある学生が沖縄県内あるいは全国規模で行われる専門に関係したコンクールに参加し、上位入賞する成果が出始めています。また、授業で習った分野に関連した資格にチャレンジする学生も育ちつつあります。

小中学から高専、企業と上にいくほど、勉強すべき量が飛躍的に増加します。企業に入れば教えてくれる人は少なく、自分で学び道を開くことが求められます。このため、高専でも高学年になるほど、授業ではポイントを説明し、学生はこれを基礎に本を読み、考え、反復練習するという態度を身に付けるよう指導しています。一部の授業では、1単位が30時間から45時間に増やされ、自学自習を強化することも検討されています。

4、5年生になると、インターンシップ、就職、進学など重要なことが控えています。これらについては今年度から準備に入ります。就職に関しては、国立高専への求人倍率が10倍というブランド力、世の中の景気が上向きで企業の求人意欲が高まっているという好機が訪れようとしています。しかし、企業は実力のある人材しか正社員として採用しないという傾向ですので、学生、教員共々気を引き締めなくてはなりません。

高専の5年間は子供から大人への移行期であり、その脱皮の時期・度合いには個人差が出てきます。家庭と学校が協力しあい、暖かく見守りながら、健全なモラル・思考力・技術力を持った自立した人材へと育てていきたいものです。



学生主事あいさつ

学生主事 新 川 智 清

学生委員会は、沖縄高専の学生が健康で豊かな学生生活を過ごせるように、学生と教職員の協力を得て課外活動や生活指導、学生会に関する事項等を審議します。

3期生を迎えて、部が21団体、同好会が4団体設置され、短い練習時間ながら充実した活動を行っています。今年度から県高体連に正式に加盟し、10の体育系部活が沖縄県高等学校総合体育大会に参加しました。さらに、九州高専体育大会にも出場し、女子バスケットボール部が初出場で初優勝を成し遂げ、8月10日から神戸市で開催される全国大会に駒を進めます。県内及び県外での対外試合に参加することにより、これまでの練習の成果を発揮する機会を得たことは学生にとって部活動を行う上での大きな刺激になっています。

学生会活動も新しい執行部が誕生し、学生会担当の委員の先生方の指導の下、学生会組織の立ち上げや規則の整備などを進めているところです。今後、高専祭を始めとする諸行事や部・同好会活動などにおいて学生会が中心になり、学生自らの自治活動を積極的に展開してくれることを期待しています。そのためには、活動費の確保が必要条件であり、学生会活動を行う上での懸案のひとつです。

入学直後の新入生研修を今年度から校内で実施しました。これを機に、本校の所在地である辺野古区を学生に理解してもらうことを目的に区の歴史や年中行事などについての講演会を地元の有識者の方にお願ひしました。今後、行事等を通して辺野古区との積極的な交流を図っていききたいと思います。



寮務主事あいさつ

寮務主事 濱 田 泰 輔

学生寮の平成18年度は4月6日（木）に開寮式からスタートいたしました。8日（土）には入学式・入寮式を行い、新入寮生を迎え、総勢約490名の大所帯となりました。新入寮生の皆さんは入寮後、寮生活という初めての共同生活に戸惑ったことも多かったことと思いますが、そろそろ慣れてきたのではないかと思います。寮では寮生会の役員をはじめ先輩寮生のみんながより良い学生寮となるよう工夫・改善に関して相談しながら寮の管理運営に携わっています。新入生の皆さんもこれからは進んで学生寮の管理運営に参加して欲しいと思います。昨年からの在寮生にとりましては新たな学年が始まりました。新入寮生の手本となるような自主自律した生活を送り、学業・研究活動に励んで欲しいと思います。また、学生寮は教育寮として、多学年混合の共同生活を通して自主自律をはじめとした社会性を身に付けるためのものです。生活の場、通学の利便のためだけのものではありません。自己管理はもちろんのこと、他寮生の生活のことも考えた生活を送り、互いに切磋琢磨して生涯の友人となれるような友情も培って欲しいと思います。

機械システム工学科

機械システム工学科学科長

松 栄 準 治

機械システム工学科は、実践的技術者育成のための特徴的な授業を実施しております。その代表的なものが、材料加工システムの授業です。これは工作機械を実際に操作し、品物の加工製作を通して加工システムを理解し、将来技術者として最適設計に活かせる知識を習得するものです。その他にも創造演習では、学科内ロボットコンテストあるいはペーパークラフトによる最適ブリッジコンテスト(限られた量の紙を使って橋を作り、吊せる錘の質量を競う、写真1参照)を開催し、自らのアイデアを競うことにより工学的なセンスを養う授業を実施しています。機械設計基礎学では、自動車用エンジンを分解し、実際の部品を触ることにより部品の構成や役割を理解できるような授業を取り入れております(写真2参照)。現在の教職員は、教員9名、技術支援センター(夢工場担当)技術専門職員3名、学科技術職員2名で、講義・実習を担当しています。平成20年度には、全教員がそろい、14名となります。学生は、第3学年42名、第2学年39名、第1学年40名の構成となっています。まだ、発展途上の高専ですが、教職員一丸となって学生のためなる教育を目指して努力していきたいと考えております。



写真1 ブリッジコンテスト



写真2 エンジン分解

教員氏名	担当科目	専門分野	学校運営・担当
中本 正一朗 (なかもと しょういちろう)	微積分Ⅱ(3年)	環境物理学	
眞喜志 隆 (まきし たかし)	機械材料(3年) 材料加工システム(1, 2年) 創造演習(2年)	表面改質	技術支援センター長 機械3年学科担任
松栄 準治 (まつえ じゅんじ)	機械設計基礎学(1, 2年) 産業創造セミナー	機械設計	学科長 地域連携推進室長
眞鍋 幸男 (まなべ ゆきお)	材料加工システム(3年) 沖縄高専セミナー(1年) 産業創造セミナー(3年)	溶接工学	副校長 総務主事
宮田 恵守 (みやた よしもり)	電気電子工学(3年) 応用物理(3年)	物理および腐食	
比嘉 吉一 (ひが よしかず)	材料力学設計(2, 3年) プログラミングⅠ(2年) 創造演習(2年) 沖縄高専セミナー(1年)	計算固体力学	学生主事補 機械2年学科担任
眞喜志 治 (まきし おさむ)	プログラミングⅡ(3年) 機械加工システム(1, 2年) 沖縄高専セミナー(1年)	エネルギー変換	教務主事補 機械1年学科担任
吉永 文雄 (よしなが ふみお)	CAD(3年) 材料加工システム(1年) 産業創造セミナー(3年)	材料加工システム	機械3年学科副担任
松田 昇一 (まつだ しょういち)	材料加工システム(2, 3年) 沖縄高専セミナー(1年) 創造演習(2年)	熱力学	寮務主事補 1年4組副担任

※平成18年度新採用者を含む機械システム工学科の所属教員

情報通信システム工学科

情報通信システム工学科学科長

知 念 幸 勇

本学科ではIT分野における創造的実践的技術者を育成するための教育・研究環境を計画的に整備しています。昨年度設備においてはネットワーク実験機器、LSI関連設備を重点に整備しました。とくにLSI設計評価設備は業界トップレベルの機能を備えた機器を数多く揃え、学生・教員が最先端の技術を活用できる環境を構築しました。

人員としましては、41名の新1年生を迎えました。また2名の新任の教員を迎えましたのでご紹介いたします。

石田教授は、三菱電機㈱の研究所で30年間、衛星通信アンテナや携帯電話の開発に携わった経験があり、電波関連の技術が専門です。韓国情報通信大学に2年間、招聘教授として招かれたあと、本校に着任されました。

神里助教授は、琉球大学大学院総合知能工学専攻を修了し、日本学術振興会特別研究員PDとして同大学で2年間研究を行った後、着任されました。専門分野は、ヒトの感性情報処理や運動計測及び解析などで、学習者の身体的個性に着目した見真似動作獲得モデルの研究に従事されてきました。研究の対象として、琉球舞踊やカチャーシーなど舞踊動作に注目し、その動作を工学的に運動解析する事なども行っています。

新任含め7人の教員と112名の学生で活気のある学科を目指していきますので、よろしくお願いいたします。



プログラミング授業風景



情報通信工学実験のようす

メディア情報工学科

メディア情報工学科学科長

角 田 正 豊

毎年4月新入生全員に「メディア情報工学科ではどんなことを学ぶのか」について話をする機会があり、「メディア情報工学科では情報を伝えるための様々の技術を学びます。その中には、プログラミング、コンピュータグラフィクス、インターネット、・・・」と言うように説明を進めています。平成16年4月沖縄高専が開校した時、メディア情報工学科の教員はわずか3名でした。学生に学科学習内容の説明をしても何か現実感の伴わないものを感じていました。昨年4月に2名、今年4月に2名の教員が着任し、教員数は現在7名になっています。今年の新入生に説明をした際は、ほとんどの学習内容についてそれを担当する教員の顔を思い浮かべながら話をすることができました。このように、だんだん足が地についた教育ができるようになってきています。教員一同協力して学生の皆さんにより良い教育を提供できるよう努力を続けます。

今年着任した2名の教員を紹介します。

教員氏名	担当科目	専門分野	前職
水野 正志 (みずの まさし)	モバイル通信 創造演習 産業創造セミナー メディア情報工学実験Ⅳ	デジタル通信 デジタル信号処理 LSI	海洋研究開発機構
太田 佐栄子 (おた さえこ)	コンピュータグラフィクス 創造演習 メディア情報工学実験Ⅱ	画像処理 数理統計学	東亜大学医療工学部

※平成18年度のメディア情報工学科の新任教員



ハイビジョンスタジオ設備



プログラミング授業風景

生物資源工学科

生物資源工学科学科長

三 枝 隆 裕

現代社会は、食糧やエネルギーの不足、環境汚染問題、BSE、医療、高齢化を始め多くの問題を抱えています。これらの問題を解決するための生物資源の有効活用や生物の持つ無限の可能性を発揮させ人類に役立てる新しい技術の開発が望まれています。

沖縄工業高等専門学校（以下、高専）の立地条件の1つには、温暖な海洋に囲まれた亜熱帯性気候が挙げられ、他県と差別化できる沖縄県独特の陸海の有用性生物の宝庫でもあります。生物資源工学科では、これらの亜熱帯性植物や亜熱帯性動物資源を始めとした生物資源の活用並びに微生物や酵素、細胞による有用性物質生産などのバイオテクノロジー技術、食品の創造的な開発や実践的な製造・管理技術を習得し、さらには、環境を考えた廃棄物処理や資源再利用に携われる人材の育成を進めています。

また、高度な技術面の習得だけではなく、人間性、協調性、国際性、創造性に溢れ、産業界や公的機関の成長を中心となって支える人材作りにも力を注いでいます。

つまり、生物資源工学科では、生命科学や生物資源工学に通じ、食糧、エネルギー、環境、健康問題などを創造的に解決できる人材の輩出を目指しています。



教育・実践棟



生物資源工学セミナーのようす

教員氏名	担当科目	専門分野	学校運営・担任
三枝 隆裕 (みつえ たかひろ)	微生物学、沖縄高専セミナー、 産業創造セミナー	微生物学、食品プロセス工学	学科長 2年学科担任
平山 けい (ひらやま けい)	生物、生物資源工学セミナー、 創造演習	細胞生物学、遺伝子工学、 神経科学	JABEE 対応委員会委員長
高野 良 (たかの りょう)	化学、有機物理化学、 生物有機化学	有機化学、生物化学	図書館長 生物3年担任
濱田 泰輔 (はまだ たいすけ)	化学、有機物理化学、 プログラミングⅠ	光化学、物理化学	寮務主事
山城 秀之 (やましろ ひでゆき)	環境学、環境科学	環境科学、サンゴ礁学	
池松 真也 (いけまつ しんや)	生物、生化学	生化学、分子生物学	
玉城 康智 (たまき やすとも)	生物分析化学、発酵学、産業創造 セミナー、化学及び化学実験法	発酵・醸造学、微生物学	生物3年副担
田邊 俊朗 (たなべ としあき)	生物資源工学セミナー、 創造演習、沖縄高専セミナー	生物工学、酵素化学、 生物資源利用科学	1年学科担任
多田 千佳 (ただ ちか)	生物資源工学セミナー、 創造演習、沖縄高専セミナー	環境学	1年1組副担

※平成18年度新採用者を含む生物資源工学科の所属教員

総合科学科

総合科学科学科長

望 月 謙 二

沖縄高専の授業は、一般科目と専門科目に大別されます。一般科目はさらに、必修科目と選択科目に別れます。必修科目には国語・英語・社会科学・数学・自然科学・健康科学の6分野が、選択科目には英語以外の外国語や芸術関係等多彩な科目が用意されています。学生は、一般科目を受講することによって、4専門学科での研究において求められる基礎力と、健全な社会人になるために必要な知識・教養を身に付けていくことになります。これらの一般科目を主に担当するのが総合科学科の教員です。

本年度から、英語担当として大石敏広・高嶺司、社会科学担当として木村和雄の3名がスタッフとして加わりました。それぞれ授業紹介を兼ねた現在の心境を簡単に語っていただきます。

・大石敏広

読書は学問の基礎です。英語の本を日本語に翻訳せずに読めるようになる手助けをしたいと思います。また、英語恐怖症を克服し、英語脳にするために、音読練習をできるだけ取り入れたいと考えています。

・高嶺 司

グローバル化の時代に活躍する技術者にとって、英語によるコミュニケーションはますます重要となっています。「合理主義」もあわせて学びましょう。

・木村和雄

専門は、社会科学と自然科学の境界、地理学です。社会科学Ⅱと地球科学の講義を通して、身の回りから地球規模に至る様々なスケールの事象を、空間的に捉えるノウハウを伝えていきます。



TOEIC(英語)の授業風景



微積分Ⅰ(数学)の授業風景

学生会活動報告

平成18年度前期の学生会活動紹介

平成18年度前期の学生会は、執行部が本格的に動き出し、部活動に関しても大変活気のあるものになりました。

5月24日体育館アリーナにて、第1回学生総会が行われました(写真1、2)。今回の総会によって「第1回学生総会 臨時会則の適用」「議長の選出」「学生会執行部役員の承認」等が決定されました。

次に、6月26日開幕した県高校総合体育大会に沖縄高専が初めて参加しました。特に3年生は、今年が最初で最後のインターハイとなります。待ち続けた二年間の思いを胸に抱き試合に挑みました。

また、7月8日(土)9日(日)の2日間にわたり第43回九州沖縄地区国立工業高等専門学校体育大会バスケットボール(女子)競技が行われました。女子バスケットボール部は、本競技において初出場にして初優勝という快挙を遂げました(写真3)。この女子バスケットボール部の活躍は、同じく、高専大会を控える他の部に、大きな励みとなりました。



写真1 第1回学生総会



写真3 第43回九州沖縄地区国立工業高等専門学校体育大会
女子バスケットボール部 優勝



写真2 学生会長あいさつ

学生会会長あいさつ

学生会会長 鈴木 裕太

「オレが沖縄高専学生会の基礎を築き上げていく。」

そんな漠然とした子供みたいな野望が、結果的に学生会会長への立候補のきっかけとなりました。学生会会長就任当初は、学生会という存在自体はありましたが、学生会の心臓部である執行機関が未完成で、それを機能させるための下部組織すらも出来ていませんでした。ですから、学生会会長としての仕事は本当に0からのスタートでした。学生会室を整備して、執行部役員を集めて…。まさか学生会そのものを作る仕事から始まるなんて思ってもいませんでしたが、努力のかいがあつてか、今では学生会の組織もだんだんと出来上がり、やるべきことも定まり、本格的に活動ができるようにまでなりました。学生会らしくなってきたと言ったら変ですが、徐々に学生会としての存在意義を持ち始めてきています。これで活動拠点と人員はそろいました。後は、学生会としてのこれからの活動に力を入れていきたいです。皆さん応援よろしくお願いします。

平成18年度学生会執行部

役 職	学 科	氏 名
会長	メディア情報工学科 3 年	鈴木 裕太
副会長	メディア情報工学科 3 年	村吉 翔大
〃	メディア情報工学科 3 年	安里 梓
書記	メディア情報工学科 3 年	武内 愛
〃	情報通信システム工学科 2 年	仲松 里夏
会計	情報通信システム工学科 3 年	具志堅 夏海
〃	情報通信システム工学科 2 年	久保田 浩幸
総務	機械システム工学科 3 年	作田 隆真
〃	生物資源工学科 3 年	喜舎場 千尋
〃	機械システム工学科 3 年	與儀 圭介
〃	生物資源工学科 2 年	普天間 直子

寮生活動報告

学生寮避難訓練

平成18年度は4月6日（木）の開寮式にはじまり、8日（土）の入寮式で新入寮生を受け入れ、寮生も約490名に膨れ上がりました。翌週の10日（月）には新入寮生と在寮生との対面式を、5月10日（水）には新入生歓迎球技大会を寮生会主催で行い寮生相互の親睦を深めました。また、5月8日（月）には防火避難訓練（写真）を行い寮生活の安全面について新入生も含め全寮生で確認しました。

今年度の初めての試みとして、寮生の居室を希望される保護者の方に限りご見学頂く見学会を公開授業週間に合わせて開催いたしました。多くの保護者の皆様のご見学を頂き、入学説明会やオープンキャンパス時におけるモデルルーム公開や見学ツアーでの寮内案内と異なり、各寮生の生活状況をご確認いただけたのではないかと思います。オープンキャンパスにおいては例年同様、寮生のボランティアの誘導案内によります見学ツアーを行いました。沖縄高専への入学を志している中学生の皆さんをはじめ多くの見学がありました。

学生寮では清潔で衛生的な生活を確保するため、毎日の清掃はもとより月に一回大掃除を行っています。これも寮生会のみんなが役割を決め、衛生管理について全寮生で分担して実施しています。廃棄物の分別の徹底はもちろんのこと、清涼飲料水のアルミ缶の分別回収を熱心に行い、寮生の環境問題への関心が高まっていることは大変喜ばしいことです。

さらに、学生寮では、部活動への施設貸出も行っています。平成18年3月2日（水）に平成17年度の学年末の閉寮式を行ったのに続けて部活動の春の合宿施設として4月の開寮式までの期間、寮施設（居室、浴室、洗濯室、補食室等）を各部活動に貸し出しを行いました。各部活動生は寮で寝食を共にしながら部員一丸となって練習、創作活動、研究活動等それぞれ活発に励んでいました。



防火避難訓練での放水体験

平成17年度末から18年度前期の寮関連行事

3月	2日（木）	年度末閉寮式、合宿受入
4月	5日（水）	新年度開寮、合宿終了
	6日（木）	新年度開寮式
	8日（土）	入寮式
	10日（月）	新入寮生対面式
5月	8日（月）	防災避難訓練
	10日（水）	新入生歓迎球技大会
	17日（水）	全体清掃
6月	7日（水）	全体清掃
7月	3日（月） ～7日（金）	保護者見学
	19日（水）	全体清掃
	23日（日）	オープンキャンパス

寮生会活動紹介

寮生全員で組織する寮生会は発足して1年半が経過しようとしています。最初の年は1期生のみで発足したばかりで寮生会としての行事はほとんどありませんでした。平成17年度からは本格的に活動を開始して行事も主催してきました。前号の高専だより発行以降に主催した行事を紹介します。

「寮 祭」

平成17年12月19日（月）20:00-23:00

平成17年度の行事ではありますが、寮生会企画広報委員会主催で寮祭実行委員会（委員長：坪田庄真（生物資源工学科3年））主導の下、寮祭を体育館アリーナにおいて実施しました。校長先生をはじめ、多くの教職員が観覧する中、バンド演奏、カラオケ、クイズ大会、ダンスパフォーマンス、合唱とさまざまなプログラムを楽しみました。当日は、冬休み前の最終日であり、1年の総まとめの楽しいひとときを過ごしました。



平成17年度の寮祭での演奏

「新入生歓迎球技大会」

平成18年5月10日（水）15:50-17:30

寮生会企画広報委員会主催で球技大会実行委員会（委員長：比嘉建太（メディア情報工学科））を結成し、体育館（バスケットボール、バレーボール）、陸上競技場（フットサル）、多目的グラウンド（キックベースボール）の3会場に分かれて4つの競技を行いました。各競技とも1年生から3年生までの学年混成チームによるゲームで楽しく、かつ学年間の親交を深めることができました。



球技大会でフットサルを楽しむ寮生

「夏の寮祭」

平成18年7月5日（水）16:00-18:30

寮生会企画広報委員会主催で寮祭実行委員会（委員長：坪田庄真（生物資源工学科3年））主導の下、体育館アリーナにおいて実施されました。校長先生をはじめ、多くの教職員、さらには公開授業週間で訪校中の保護者の方々が観覧する中、バンド演奏、カラオケ、コント、合唱とさまざまなプログラムを楽しみました。当日は、寮生の熱気に加え梅雨明した快晴の気象状況でアリーナ内は大変高い室温でしたが、団扇を手にとったり、浴衣姿で参加する寮生もいて、華やい楽しい夏の一夜を楽しく過ごしました。



平成18年度夏の寮祭での最終プログラムの合唱

高校総体結果報告

競技種目	競技結果		会場
	5月27日（土）	5月28日（日）	
バレーボール （男子）	1回戦敗退（沖縄高専 0-2 豊見城南）		小禄高校
バレーボール （女子）	1回戦敗退（沖縄高専 0-2 首里東）		那覇市民体育館
バスケットボール （男子）	1回戦勝利（沖縄高専 72-61 那覇）	2回戦敗退（沖縄高専 54-100 糸満）	コザ高校
バスケットボール （女子）	1回戦勝利（沖縄高専 102-11 那覇工）	2回戦勝利（沖縄高専 83-70 興南） 3回戦敗退（沖縄高専 45-98 普天間）	普天間高校
卓球	男子団体： 1回戦敗退（沖縄高専 2-3 開邦）		うるま市 石川体育館
サッカー	1回戦敗退（沖縄高専 0-3 名護）		具志川高校
陸上競技	女子 400m 6位入賞（兼城光）	男子 200m 準決勝進出（仲栄真伸） 女子 400m ハードル予選 9位（新川舞）	沖縄県総合運動 公園陸上競技場
ハンドボール	1回戦敗退（沖縄高専 5-38 普天間）		八重瀬町営体育館
テニス（男子）	団体戦	個人戦	奥武山庭球場
	1回戦勝利（沖縄高専 2-1 南部工） 2回戦敗退（沖縄高専 1-2 首里東）	<雨天順延> 31日以降出場辞退	
テニス（女子）	団体戦	個人戦	那覇市民 漫湖庭球場
	1回戦勝利（沖縄高専 3-0 伊良部） 2回戦敗退（沖縄高専 0-2 首里）	<雨天順延> 31日以降出場辞退	



地域連携推進室長あいさつ

地域連携推進室長 松 栄 準 治

高専の最も重要な役割は次世代の技術者育成、特に実践的な人材の育成にありますが、外部機関との共同研究、本校内での教育・研究成果に根ざした地域社会への貢献も重要な役割と位置づけております。このような意味から、地域連携推進室では本校での教育・研究成果(技術シーズ)を地域へ発信するため、高専フォーラム(県南部、北部地区)の開催、各種技術展示会への出展、共同研究・開発や技術相談・指導(共同・受託研究、技術指導、分析など)、地域の方々を対象として科学技術の啓蒙活動(公開講座、学校開放事業、出前授業、技術講習会、施設見学会など)を推進するとともに、地域と地域産業の活性化を目指した活動を行って参りたいと考えています。

産業界との連携による共同研究や技術相談等の平成18年度における現在までの実績として、受託研究:2件、共同研究:1件、中小企業庁高専等を活用した人材育成事業(沖縄県健康ブランド確立を目指した生産・管理技術者育成事業)および技術相談:3件を数えます。技術相談につきましては、事務部庶務課地域連携係を窓口にして、全教職員が対応する体制を整えておりますので、気軽にご用命頂きますようお願い致します。

また、高専主催の活動として、

高専フォーラム(秋に南部地区、冬に北部地区)の開催

学校開放事業(小中学生対象、高専機構の方針でもあります)

技術講習会(高専長期休暇中に3D-CAD、CAE講習会など)

等を予定しております。

今後、学年進行による教職員数の充足、施設・設備等の整備に応じ、これらの事業を拡張・充実し、地域との連携をさらに深めたいと考えております。



学生相談室長あいさつ

学生相談室長 小 池 寿 俊

本校には、学生の悩みや心配事等の相談にのり問題解決の手助けをすることを主な目的として、2年前の開校時から学生相談室が設置されています。私や非常勤のカウンセラーも含め、今年度学生相談室のメンバーはすべて代わってしまいましたが、引き続き学生からの相談受付を主な業務とし、学生への講演、教職員への研修会開催等の活動を行っていく予定です。今年度、非常勤として男性カウンセラーに週1日、女性カウンセラーに月1日、来校していただいています。また、教員の相談員も6月末から週に2日程度学生相談室に詰めて学生の来室を待つことになりました。少しでも学生が利用しやすい環境を作っていければ、と考えております。

学生相談室として直接接する機会はありませんので、この場をお借りして保護者の皆さんにお願いがあります。それはメンタルな問題への理解です。体の不調であれば周囲も気付きやすく医療機関の受診もスムーズです。一方、例えば気持ちが沈み勉強する気が起きない、といった場合、家族や我々も含め周囲は、怠けているだけ、と捉えがちですが、心の問題に起因する場合もあるのです。また、周囲とうまくコミュニケーションが取れないと言った学生についても、今までは単に「ちょっと変わった子」と済ませられていましたが、発達障害等さまざまな可能性が知られてきました。もちろん、過敏になる必要はありませんが、メンタルな問題を抱える人間は決して珍しくない、というのは記憶にとどめておいていただきたいことです。いずれにせよ、さまざまな悩みや問題を抱える学生は少なくありません。学生相談室として、彼らをサポートし快適な学生生活を過ごせるよう、支援していきたいと思っております。



後援会会長あいさつ

沖縄工業高等専門学校後援会長 喜 納 隆

沖縄高専だよりの発刊にあたり、後援会を代表致しましてご挨拶申し上げます。

沖縄高専の学校生活活動に関してのニュース等を目にして、3年目に入りました。テレビや新聞等で目にする学生の姿・形が、自立しつつあり喜ばしく思います。

私達後援会も陰ながらバックアップし、学生に対する支援、学校への協力を続けてまいりましたが、学生の活躍する姿を見て安心をしております。保護者の皆様全員が同じ気持ちで支援しており、学生等のホップ・ステップ・ジャンプの躍動を期待しています。

学生の皆さんは、これから学科別の専門課程に入っていく事と思いますが、知識修得に努め、後輩の指導、同級生との切磋琢磨によって人間性を磨き、地域社会の場にて力を発揮して下さい。

社会人として高専生を見ていく機会が増えていきますが、企業人からの見方に耐えられるように、メンタル面及び体力面からも志を高く掲げて下さい。

最後に、沖縄高専の発展及び学生の活躍を祈念し、後援会一同で見守って支援できるように、保護者全員の入会・協力をお願い致します。

なお、後援会活動に関するお問い合わせは、沖縄高専後援会事務局（0980-50-0133）までお願い致します。

校章について



左の本校校章は、大きく表記された高専の文字の背景に、沖縄高専の位置しております「やんばる（沖縄本島北部）の深き緑」と辺野古沖の「青き豊かな海」を表現しております。さらに、周囲を取り囲む円で「沖縄（Okinawa）の青い空」を表しています（表紙にカラー版があります）。

平成18年度行事予定表

4月			5月			6月			7月			8月			9月		
1	土	春季休業（6日迄）	1	月		1	木		1	土		1	火		1	金	臨時休業（30日迄）
2	日		2	火		2	金		2	日		2	水	学生寮全体清掃	2	土	
3	月		3	水	憲法記念日	3	土		3	月		3	木		3	日	学校説明会 （本校、那覇、八重山）
4	火		4	木	国民の休日	4	日		4	火		4	金		4	月	
5	水	開寮・部屋替え	5	金	こどもの日	5	月		5	水	カウンセラーによる 講話（1年生） 学生寮夏の寮祭	5	土		5	火	
6	木	開寮式（2年・3年）	6	土		6	火		6	木		6	日		6	水	
7	金	2・3年生健康診断・HR	7	日		7	水	カウンセラーによる 講話（3年生） 学生寮全体清掃	7	金		7	月		7	木	
8	土	入学式 入寮式	8	月	学生寮防火訓練	8	木		8	土	↑高専体育大会九州沖 縄地区大会 （女子バスケットボール）	8	火		8	金	
9	日		9	火		9	金		9	日	↓	9	水	交通安全講習会	9	土	
10	月	オリエンテーション 2・3年生授業開始 寮対面式	10	水	学生寮新歓行事	10	土		10	月		10	木	↑全国高専体育大会 （女子バスケットボール）	10	日	
11	火	1年生健康診断・HR 1年生数学・英語課題 確認テスト	11	木		11	日		11	火		11	金	↓	11	月	
12	水	↑新入生研修	12	金		12	月	↑前学期中間試験	12	水		12	土		12	火	
13	木	↓	13	土		13	火		13	木		13	日		13	水	
14	金	1年生授業開始 2年生数学課題確認 テスト	14	日		14	水		14	金	↑高専体育大会九州沖 縄地区大会（野球・サッカー 以外 15、16）臨時休業日	14	月	↑前学期期末試験	14	木	
15	土		15	月		15	木	↓	15	土		15	火		15	金	
16	日		16	火		16	金		16	日	↓	16	水		16	土	
17	月		17	水	学生寮全体清掃	17	土		17	月	海の日	17	木		17	日	
18	火		18	木		18	日		18	火	臨時休業日	18	金	↓	18	月	敬老の日
19	水		19	金		19	月		19	水	学生寮全体清掃	19	土	学生寮居室点検・ 全体清掃・開寮式	19	火	
20	木		20	土		20	火		20	木		20	日	閉寮	20	水	
21	金		21	日		21	水		21	金		21	月	夏季休業（31日迄）	21	木	
22	土		22	月		22	木		22	土		22	火	↑ザマースクール	22	金	
23	日		23	火		23	金	慰霊の日（授業なし）	23	日	オープンキャンパス	23	水		23	土	秋分の日
24	月		24	水	学生総会	24	土		24	月		24	木		24	日	
25	火		25	木		25	日		25	火		25	金	↓	25	月	
26	水		26	金		26	月		26	水		26	土		26	火	
27	木	歯科検診	27	土		27	火		27	木		27	日	学校説明会 （本校、宮古）	27	水	
28	金		28	日		28	水	カウンセラーによる講話 （2年生）	28	金		28	月		28	木	
29	土	みどりの日	29	月		29	木		29	土		29	火		29	金	
30	日		30	火		30	金		30	日		30	水		30	土	開寮・部屋替え
			31	水					31	月		31	木				
備考			備考			備考			備考		・公開授業週間、寮の居室 見学（3日～7日） ・保護者懇談会	備考			備考		・学生寮消毒作業

10月		11月		12月		1月		2月		3月	
1	日	開寮式 後学期開始	1	水		1	月	元旦	1	木	
2	月	後学期授業開始 1年生数学課題 確認試験	2	木		2	火		2	金	入学確約書提出期限 ↓
3	火		3	金	文化の日	3	水		3	土	
4	水		4	土		4	木		4	日	
5	木		5	日		5	金		5	月	学生寮居室点検・ 全体清掃・閉寮式 入試合格発表 臨時休業日（24日迄）
6	金		6	月		6	土		6	火	閉寮
7	土	↑ プログラミング コンテスト	7	火		7	日	開寮 推薦選抜（面接日）	7	水	学生寮全体清掃
8	日	↓ ロボットコンテスト 九州・沖縄地区大会	8	水		8	月	成人の日 開寮式	8	木	入学手続日・入学説明会
9	月	体育の日	9	木		9	火		9	金	
10	火		10	金		10	水		10	土	
11	水	校舎地区消防訓練	11	土		11	木	推薦判定会議	11	日	建国記念の日
12	木		12	日		12	金	推薦判定結果通知	12	月	振替休日
13	金	2年生数学課題 確認試験	13	月		13	土		13	火	月曜日の授業
14	土		14	火		14	日		14	水	
15	日		15	水	学生寮全体清掃	15	月		15	木	
16	月		16	木		16	火		16	金	進級認定会議
17	火		17	金		17	水	学生寮全体清掃	17	土	
18	水	学生寮全体清掃	18	土		18	木		18	日	
19	木		19	日	編入学試験	19	金	推薦確約書提出期限	19	月	
20	金		20	月		20	土		20	火	臨時休業日・ 学力選抜試験採点日 ↑ 後学期期末試験 （予備日1日）
21	土		21	火		21	日		21	水	春分の日
22	日		22	水	臨時休業日	22	月		22	木	学力選抜判定会議
23	月		23	木	勤労感謝の日	23	火		23	金	
24	火		24	金		24	水		24	土	
25	水		25	土		25	木		25	日	学年末休業（31日迄）
26	木		26	日	ロボコン全国大会	26	金		26	月	学力選抜判定結果通知
27	金	高専祭準備日（授業なし）	27	月		27	土		27	火	試験返却日 ↓
28	土	高専祭	28	火		28	日		28	水	
29	日		29	水		29	月	学力願書受付（2/2迄）	29	木	
30	月	高専祭代休	30	木		30	火		30	金	
31	火	月曜日の授業				31	水			土	
備考			備考			備考			備考		
					・学生会役員選挙			・寮生会役員選挙			・授業料免除申請説明会

沖縄工業高等専門学校校歌

作詞 古賀 義伸
作曲 上江洲安彦
編曲 上江洲安彦



三、 二、 一、

光り輝け 辺野古の海を見晴るかす
丘に聳えし学び舎に
大志抱きて集いし我ら
友とともに、師とともに
未知なる海原漕ぎ進む
ああ、沖縄高専
光り輝け

日本の最南、美ら島の
丘に聳えし学び舎に
世界目指して集いし我ら
友とともに、師とともに
バイオニアの精神連綿と
ああ、沖縄高専
光り輝け

深き緑の山原の
丘に聳えし学び舎に
夢を求めて集いし我ら
友とともに、師とともに
技術の地平を切り拓く
ああ、沖縄高専
光り輝け

校歌に関するコメント

学生課長 古賀 義伸

私が沖縄高専に赴任してきたのは平成16年4月1日です。入学式では、第1期の学生と同じく私自身も新入生でしたので、これから始まる沖縄高専の歴史に参加するという不思議な感慨を覚えたものでした。

校歌の歌詞の公募があったとき、高専を取り巻く風景と沖縄県全域から集まってきた第1期生の希望に輝く瞳が自然にイメージとして浮かび、また、私自身の思いもオーバーラップしてそれほど悩むことなく歌詞が出てきました。思いの強さからか少し単純な詞となってしまったかと思っていましたので採用されたときには本当に驚きました。

これから、この思いが学生によって引き継がれていくということを考えると誠に恐縮です。このような栄誉を頂き、校長をはじめ沖縄高専の皆様には深く感謝をいたします。ありがとうございました。